

展示の概要

「旅する版画：イヌイットの版画のはじまりと日本」は、カナダの極北地域で最も歴史が長く成功を収めている版画制作グループで、世界的にも知られるケーブドローセット・スタジオの初期（1950年代後半から1960年代前半）における、日本の影響を探る画期的な展示です。この展示ではまた、1958年に日本とカナダ北極圏の版画家との間に注目に値する結びつきを築いたカナダ人アーティストで政府職員でもあった、故ジェームズ・ヒューストンにも光をあてます。

展示は、現代イヌイット芸術の簡単な紹介と、石の彫刻、裁縫、道具制作などのイヌイットの文化表現の伝統的形式と現代イヌイット芸術との関連性の紹介から始まります。導入部ではまた、版画作りがどのように1957年にカナダの北極圏にもたらされたかを説明し、展示の焦点である日本の影響の背景を明らかにします。

展示の中心は次の3つのセクションから構成されています。

未知への冒険 1957–1958: ここでは、日本の影響がもたらされる以前の、短い「実験」時代のイヌイット版画を紹介します。特筆すべき展示作品には、ケーブドローセット・スタジオで初めて制作された版画作品のひとつ、「三匹のトナカイ」（1957年11月20日制作）や、ケーブドローセットの版画家たちが入手できた数少ない平らで「彫刻可能な」素材であった、床材のリノリウム・タイルを使って作られた作品3点などがあります。

日本の巨匠からの教え 1958–1959: 1958年11月から1959年1月末まで、ジェームズ・ヒューストンは日本で木版画制作を学びました。その間、主に師事したのは日本の版画の巨匠、平塚運一です。このセクションでは、ヒューストンの作品を展示し、日本における多くの文化的体験に光をあてます。ヒューストンが日本の豊かな版画の伝統を学びながら制作した、水墨画、水彩画、版画などがご覧いただけます。

日本からのインスピレーション 1959–1963: 本展示の核心部であるこのセクションでは、初期のイヌイットの版画を、ヒューストンが日本からケーブルドセットに持ち帰った日本の版画と並べ、類似点と相違点が明らかに観察されるよう展示しています。特に注目に値する作品には、平塚の手本にインスピレーションを得たイヌイットのアーティストたちが制作した、力強い白黒のストーンカット（石彫り）版画や、珍しいイヌイットのストーンカット拓本、日本の合羽刷りの手法にインスピレーションを得てイヌイット・アーティストが作ったステンシルなどがあります。ここでは、平塚、棟方志功、カナンギアク・プートウーグック、ルッカ・シアツク、ケノジュアク・アシェヴァクをはじめとし、その他多くのイヌイットと日本の最高水準の現代版画家による歴史的な重要性を持った作品がご覧いただけます。

また、ストーンカットの版石（ブロック）や、1950年代後半にヒューストンが紹介した日本の道具を見本としてケーブルドセットのアーティストたちが作った初期の版画の道具なども展示されています。展示品には、北極熊の毛で作った刷毛やアザラシの皮のバレン（版石の上に置いた版画紙の上からこする軽量の円盤形の道具）などもあり、イヌイットのアーティストが、地域にある素材をいかに有効に使ったが伺われます。

展示作品を補完するものとして、この展示会のために特別に制作された18分のビデオもご鑑賞いただけます。「私たちをつなぐ系：和紙クリエーターとケーブルドセット・アーティストの出会い」は、版画制作の物語に現代のひねりを加えるものです。同ビデオは、ヒューストンが初めて日本とイヌイットのアーティストの橋渡しをしてから半世紀後の2002年に撮影され、日本の伝統的な和紙漉き職人のグループが、その手作り和紙を使い続けているイヌイット・アーティストを尋ねてケーブルドセットを訪れる旅を追っています。

カナダ文明博物館は、今回の展示に際して、次の外部共同キュレーターにご協力いただいたことに、深く感謝申し上げます。

池田安里氏は、ブリティッシュ・コロンビア大学大学院の美術史・視覚芸術・美術理論学科博士課程生です。氏の博士論文は、十五年戦争（1931-1945年）

中の日本の芸術と日本のファシズムの問題について検証するものです。また、ミン・ティアンポ (Ming Tiampo) とアヤ・ルイザ・マクドナルド (Aya Louisa McDonald) 両氏とともに、英語による初めての日本の戦争芸術選集を編纂しました。(Brill Academic Publishers より近刊予定)

ミン・ティアンポ (Ming Tiampo) 博士は、カナダ・オタワにあるカールトン大学の美術史の准教授で、日本の戦後芸術とトランス・ナショナリズムのスペシャリストです。著作、*Gutai: Decentering Modernism* は、シカゴ大学出版局からこの春に出版されました。博士は現在、ニューヨークのグッゲンハイム美術館で開催予定の具体美術についての展示会の準備中です。

イヌイットの版画: 日本のインスピレーション は、カナダ文明博物館がカナダ内外のほかの機関での展示のために特に用意した巡回展示です。

「**旅する版画：イヌイットの版画のはじまりと日本**」は、カナダ文明博物館がカナダ国内外の他施設で展示することを目的として特別に企画・制作した巡回展です。第一回展示は、2011年春に東京のカナダ大使館で開幕します。